

老舗名	江戸切子の店 華硝 B組 4班
Q.1	お店を日本橋に建てた理由はなんですか。
A.1	江戸切子の店発祥の地が日本橋だからです。弊社の本店は亀戸にありますが、発祥の地に一軒も江戸切子のお店が残っていなかったため、ぜひ2号店を出す時は日本橋にという事で昨年の6月にオープンしました。
Q.2	色硝子はどのように作っているのですか。
A.2	江戸切子で使用するガラスは、白いガラスの上に色のついた硝子を被せた二重構造のものです。例えば青だったらコバルトなど、金属の粉を混ぜて色を出しています。
Q.3	伝統的な製法を守っていく苦労はなんですか。
A.3	いくら技術があってもずっと同じものを作ればいいわけではありません。伝統を守る為にも、新しいデザインや売り方など、常にお客様を楽しませる努力が必要です。
Q.4	江戸切子を作る上でのこだわりはなんですか。
A.4	どんなデザインにするかを考えるところから、硝子をカットして磨くまで、全て自分達の手で行う事です。今は磨く時に薬品を使うところが多いですが、仕上がりの美しさから、私達は手磨きにこだわっています。
Q.5	創業から今まで変えていないことはなんですか。
A.5	手作業でカットして磨くという手作業の工程は、昔も今も変わっていません。
Q.6	創業当時から今までの売り上げや購入者の変化はありますか。
A.6	昔は口コミでお店を知る人がほとんどでしたが、インターネットが発達した今はHPやSNSを見て来たという若い方や、外国人が増えました。
Q.7	季節によって売れる品物に違いはありますか。
A.7	硝子は冷たいイメージがあるので夏に一番売れます。特に暑い時期は、水色や緑など涼しげな色が人気です。
Q.8	一番高い商品はいくら位ですか。また、売れますか。
A.8	100万円台のものが一番高いです。それでも買う方はいらっしゃいますし、非売品のものでも売ってほしいといわれる事があります。
Q.9	最も売れている商品は何ですか。また、その商品にはどのような特徴がありますか。
A.9	ぐいのみです。値段が手頃なものもあり、ペアで買う方も多いためです。海外の方には日本的な飾り物としても人気があります。
Q.10	ガラス製品が安く大量に手に入る世の中で、これからどのように華硝の江戸切子売り出して行きたいですか。
A.10	華硝には細かいカットや手磨きなど、他では真似できない技術力があります。今後はいかに多くのお客様に華硝の江戸切子を知ってもらい、ファンになってもらえるかを考える事が大事だと考えています。